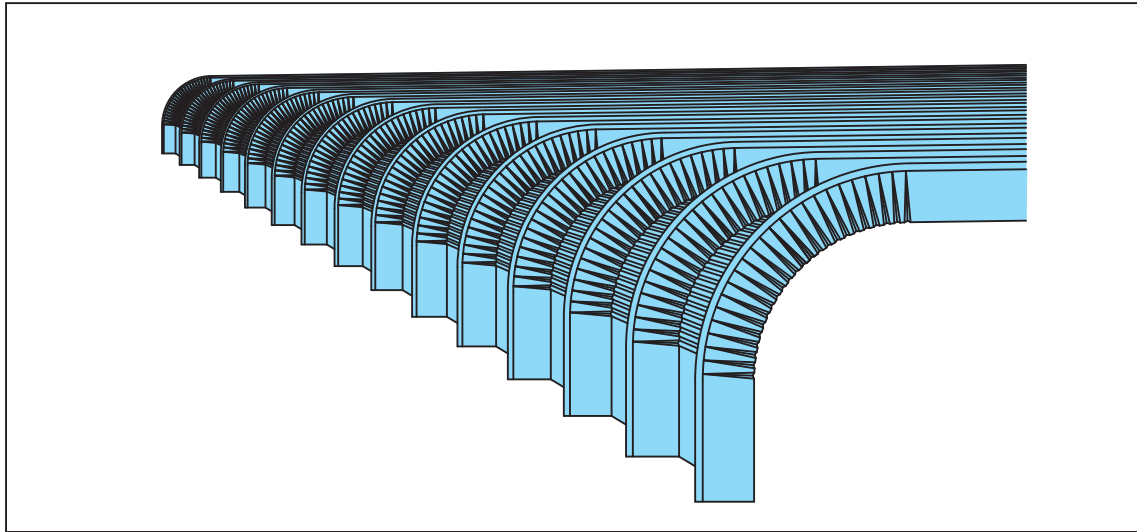


R折板屋根

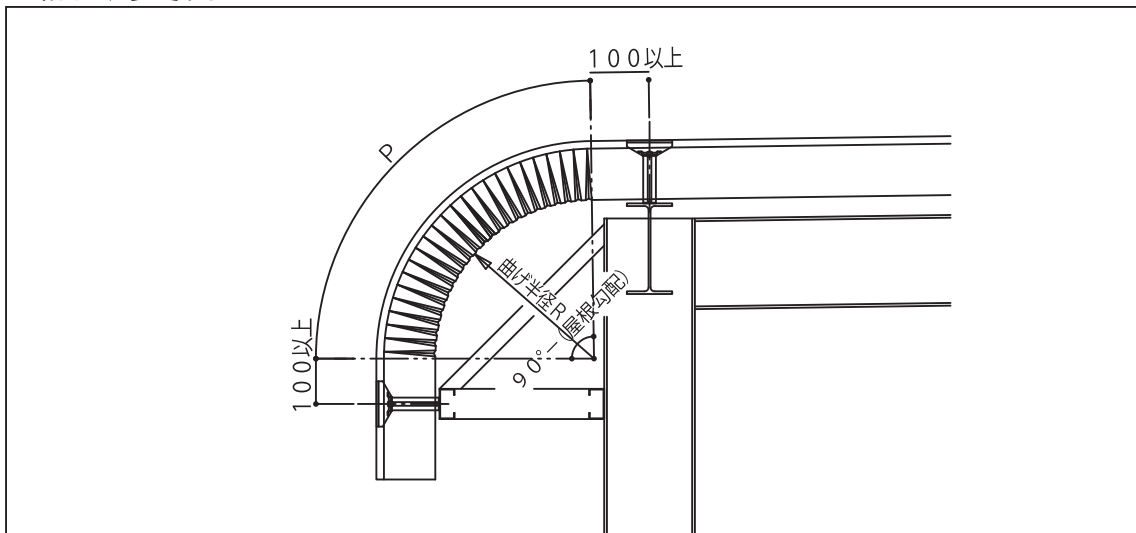
ラジアル工法



アールライン加工は、カスケード工法同様、各種折板に意匠効果、機能の両面から付加価値をつけた工法です。

美しい曲線と鋼板の量感を生かした軒先部の演出ができ、風雪の吹き込みや、積雪、つららの自然落下を誘導し、軒先を保護します。

■納まり参考図



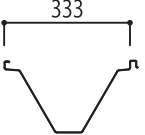
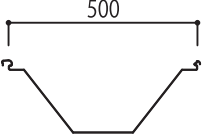
■用途

校舎、体育館、会館、クラブハウス、駅舎、駐車場、ガスリンスタンド、工場、倉庫、などの屋根。

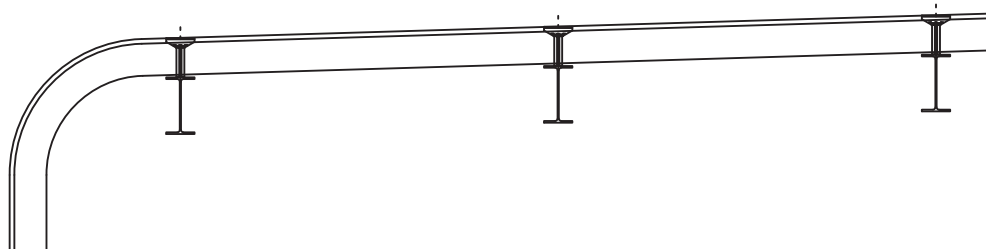
■R折板に使用する屋根形状

1. 建造物建設地の状態（都市中心部・作業スペースのない場合・屋根面積の少ない場合・屋根の流れが長い場合や取り合い立ち上がり部・そり屋根・アーチ屋根などに使用する場合）によっては積算価格に多少の加算がありますので、設計時点でご照会下さい。
2. 工場成型による成型品の運搬は可能ですが、製品の損傷などの点を考慮し、現地成型が望ましく、この場合曲げ加工のための作業スペースが必要です。
3. 普通軒先曲げの場合、軒先部分のタイトフレームの芯出しは充分に注意して一直線になるように取付けて下さい。

■設計参考仕様

一般名称	H-1733	H-1750
使用折板型式		
働き巾	333mm	500mm
板厚	0.8/1.0mm	
材質	GL鋼板・着色亜鉛鉄板	
曲げ半径（最小R）	525mm	
断熱材	ポリフォーム4mmは可能。 それ以上の厚さについては、軒先はずしにて行なう。	
防錆処理	屋根葺完了後、現場補修塗装	

■施工（タイトフレーム取付）参考図



1. 基準線のタイトフレームは、一直線に揃える。
2. 軒先曲り先端部にタイトフレームを使用して緊定する場合は、剣先ボルトのないタイトフレームを使用する。